

題字：慈雲老大師（円覚寺派前管長）

■編集・発行／神奈川骨髄移植を考える会

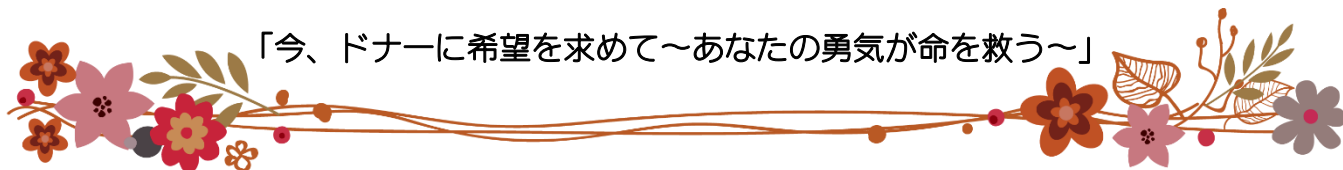
〒254-0042 神奈川県平塚市明石町 24-25-309 黒部設計事務所内 発行責任者／村上忠雄

TEL:090-4713-7300 FAX :0463-25-1383 <https://www.bmtkanagawa.com/> E-mail:bmtnoniji@yahoo.co.jp

■日本骨髄バンク <http://www.jmdp.or.jp> ■全国骨髄バンク推進連絡協議会 <http://www.marrow.or.jp>

医療講演会＆シンポジウム開催

「今、ドナーに希望を求めて～あなたの勇気が命を救う～」



9月16日（日）かながわ県民センターにて、「今、ドナーに希望を求めて～あなたの勇気が命を救う～」をテーマに医療講演会およびシンポジウムを開催しました。

パネリストとして東海大医学部の矢部普正教授、ドナー経験者である俳優の木下ほうか氏と移植経験者の池谷有紗さんを迎え、全国骨髄バンク推進連絡協議会顧問の大谷さんがコーディネーターとなりドナーと患者さん双方の経験の貴重なお話を伺いました。

参加者は189名を数え、それぞれがいろんな思いを持ち帰られたたことと思います。

当会会長は、開会の挨拶とともに「まずは骨髄バンクを知って頂き、皆様方の若い力を、移植を必要とする患者さんの未来につなげてほしい」と、熱いメッセージを送りました。

共催の神奈川県健康医療局、保健医療部がん・疾病対策課の濱卓至課長は、特に若い世代のドナー登録者の必要性を訴えかけ、県での取り組みを紹介して頂きました。

第一部の医療講演では、東海大学医学部の矢部普正教授が骨髄移植の最新情報を講演され、ドナー登録者の高齢化が問題となっており、若年ドナーのリクルートが喫緊の課題だと指摘されました。

第二部のシンポジウムでは、「移植って何？ドナーって何？」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

移植提供経験のある俳優・木下ほうかさんは、啓発ボスターがきっかけとなり「まずは登録だけしてみよう」と平成16年に登録。その5年後に適合通知が来た時には迷いもあったが、自分の体の一部が必要としている誰かの役に立てるなら…と平成21年に提供を決意。自



分の細胞が誰かの身体で生きている嬉しさを感じたといいます。

移植経験者の池谷有紗さんは「逝きそうになっていた私の手を、顔も知らないドナーさんが手を掴んで、地上に戻してくれたというイメージが、今の自分を支えている」とお話しされました。

壇上で朗読されたドナーからの手紙には、愛がいっぱい詰まっていて、胸が熱くなりました。

シンポジウムの最後には、大谷貴子さんが「この中で骨髄バンクでドナーになった経験のある方、ご起立願いますか」と会場に声をかけ、ご起立くださった姿に贈

られた会場の暖かい拍手は、大きな感謝の気持ちの表れとなり、会場の中に鳴り響きました。

更に、「どなたでもできることは、今日の骨髄バンクの話をだれか一人でもいいので話してください。この会

場の 200 名の皆さんが実行すれば、400 名の方が知ることになる」と普及啓発を呼び掛けました。

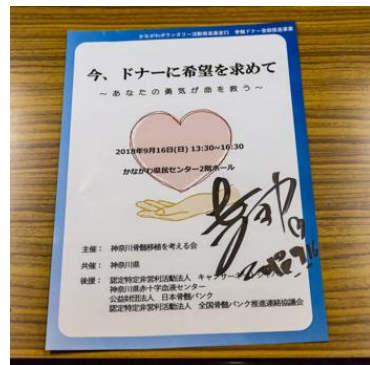
今回の講演を受けて、今後、若い世代に登録してもらうために、多くの人が興味を持ってくれるような、新しい取り組みを考えていきたいと思いました。（星野）



矢部先生の講演のようす



シンポジウムは、大谷さんの進行のおかげで打ち解けた雰囲気になりました。

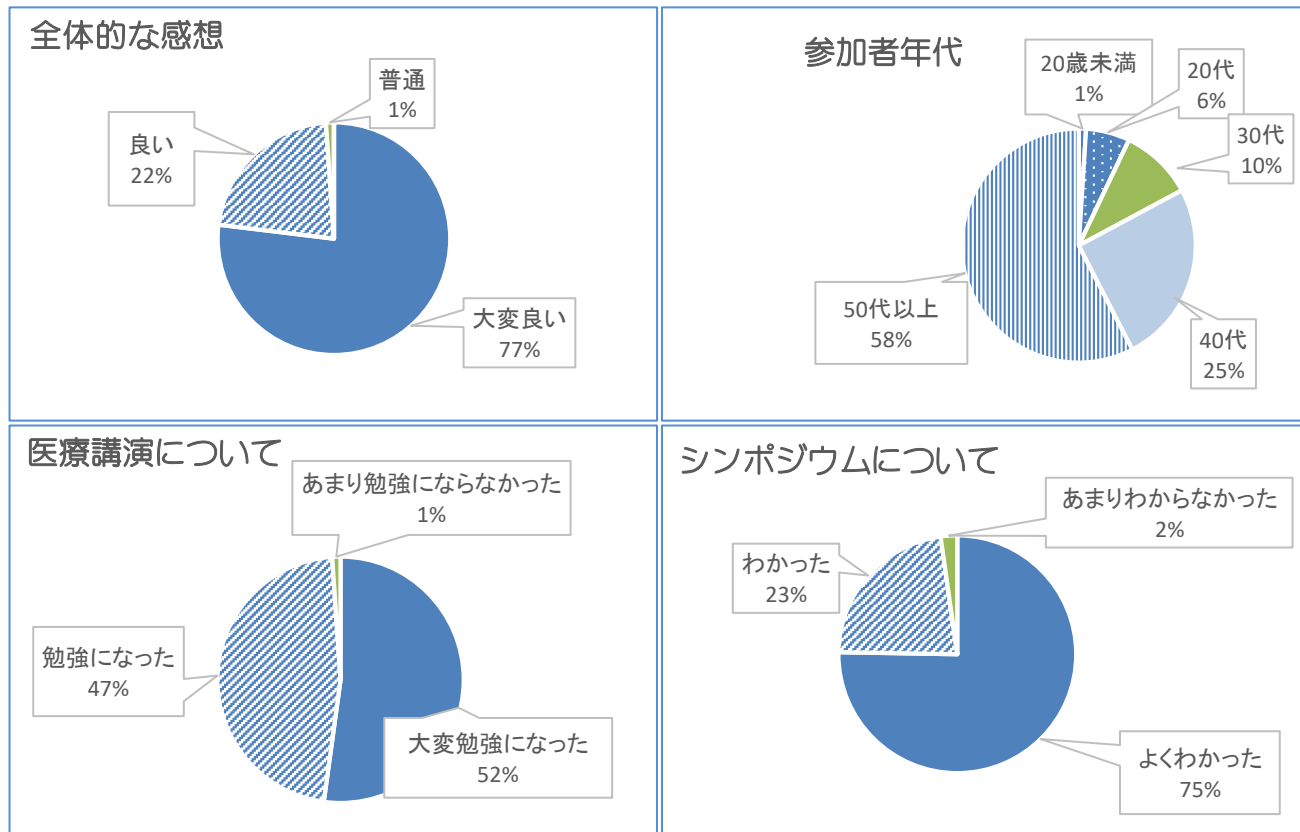


本会のプログラムです。ほうか氏のサインをいただきました。

来場者アンケート結果

アンケートでは、企画内容についてはおおむね好評価をいただきました。

30 歳代以下の若い方の参加が少なかったところは課題です。



<参加者からいただいたコメント>～抜粋

- ・実体験のお話は身にしみます
- ・患者側、提供者側の両方の話を聞く事が出来たのが良かった。
- ・提供する側も幸せに豊かな人生を生きられる。
- ・命が繋がれて子供達の為になる、良い話が聞けました。

※この他、啓発活動やドナーのサポートなど、さまざまなご意見をいただきました。

当日の準備の様子ご紹介



撮影:小北一兵

縁



シンポジウムの終了後にコーディネーターの大谷さんと盛り上がっている方がいました。西村さんは当会の会員としても活躍していて、しかも現職の神奈川県議会議員でもあります。私たちの活動はそれぞれの思いで繋がっています。

西村さんから寄稿をいただきました。

恩人が白血病になった。そんな時、川崎駅前で骨髄ドナー登録を呼びかけるBMTの方と出会った。私の行動が回り巡って、恩人にいい形で現れればと祈るような思いでドナー登録をした。5年前のことだ。以来、県会議員として、繰り返し議会で取り上げ、念願だったドナー助成制度も神奈川県で勝ち取ることができた。

9月のシンポジウムで懐かしい人に出会った。進行役を務めた全国骨髄バンク推進連絡協議会顧問の大谷貴子さんは、中学の1年先輩だ。大病をされたことも、骨髄バンクの推進活動に尽力されていることも知らなかった。議会で結果を出して、ほっとしていた私に「まだまだ課題はある。一緒に戦ってほしい」と叱咤激励を頂戴した。袖振り合うも多生の縁。大谷先輩との再会は新たな指標となった。

骨髄バンクは善意と勇気がつくる「縁」で成り立っている。これからも命を繋ぐ「縁」を支えていきたい。

前述の恩人は現在、元気に社会復帰している。

(西村恭仁子)



終了後の打ち上げにて
西村さんと大谷さんも参加されました



木下ほうか氏の本『僕が骨髄提供をした理由。言うほどたいしたことなかったで〜!』が11月下旬に発刊されました。

「本を読んでもらうことで、もっと多くの人たちに骨髄バンクのことを理解してほしい」という木下さんの願いが込められています。

お求めは全国の書店または Amazon で。

著者：木下ほうか 発行：辰巳出版株式会社
価格：1,400 円（税別）

平成 30 年度 ドナー登録説明員養成講座

11月3日（土・祝）神奈川県総合医療会館において、平成30年度骨髄ドナー登録説明員養成講座を開催しました。当日は、定員10名のところ7名にご参加いただきました。

受講者は、講座に対して熱心に耳を傾け、またロールプレイングの際にも自分の疑問を解決しながら、真剣なまなざしで取り組む姿が印象的でした。

造血幹細胞移植の推進については、ドナー登録者数を増やすことが重要ですが、ドナー登録の要件の1つである「骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解」していただくために、本講座を受講し、日本骨髄バンクに登録した説明員による説明が必要です。本講座を通じて多くの説明員を養成することで、より多くのドナー登録会を開催することができます。

今後も神奈川県赤十字血液センター及び神奈川県骨髄移植を考える会の皆様にご協力をいただきながら、説明員養成講座を開催してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。
（神奈川県健康医療局・松本）

第10回記念 患者サロン公開講座

10月20日（土）、横浜市社会福祉センターで「血液疾患患者サロン 第10回記念公開講座」が行われ、38名が参加しました。

今回は、国家公務員共済組合連合会虎の門病院血液内科部長の内田直之先生には「血液疾患における造血細胞移植の選択と治療」、同病院歯科の吉村美枝子先生には「血液疾患における口腔ケアの重要性」と題したご講演をいただきました。

歯科医の吉村先生からは「造血細胞移植と歯科？」この関連性を、分かりやすいスライドと、明晰でしかもユーモアに富んだ語り口で話していただき時間を忘れるほどでした。



吉村先生のお話の様子

次に、血液内科医の内田先生からは、骨髄、臍帯血、ハプロタイプ移植などのそれぞれの特徴を詳しく話していただき、患者さんの治療選択につながる大切なヒントをいただきました。お二人のご講演を、患者さんにとっては過酷で辛い治療でありながらも、終始、希望の見える穏やかな気持ちで伺うことができました。



内田先生のお話

当会の患者サロンは「白血病は治ったけれど」のフレーズで始まりました。しかし、会を開くたびに、新規の患者さんや闘病中の患者さんも見えられますので、今回はそのフレーズを傍に置いての公開講座となりました。

蛇足ですが、神奈川の会の患者サロンの良さは、各病院を超えた情報交換や交流が行えることではないでしょうか？その証に講演後も熱い交流が続いていました。

（高橋）



今日も元気なともちゃんレポート

高尾山森林マラソン 2018

10月28日(日)、神奈川骨髓移植を考える会のメンバー4人でエントリーした【高尾山森林マラソン 2018】初めてのノルディックウォークに挑戦!

普通のマラソン大会とは違い、見晴らしのいい場所での弁当休憩も含め、4時間半の森林浴ウォーキング。ちょっと懐かしい遠足気分。

会長も一緒に参加した今回、色々な方から骨髓バンクの事で声を掛けて頂きました。タスキの力は絶大です!



村上会長も参加しました

仲間との参加はとっても心強く、支えられている事を改めて実感した大会となりました。心から感謝です。(星野)

東京雪祭

SNOWBANK PAY IT FORWARD 2018



11月10日(土)・11日(日)の2日間にわたって代々木公園で開催されました上記イベントに、今年も神奈川の会から8名の会員が説明員として参加しました。

素晴らしい紅葉とお天気に恵まれ、目標の献血222名、ドナー登録111名を上回る、献血実施数238名、骨髓ドナー登録数117名の結果となりました。

神奈川の会では雪主としてご寄付もしておりますが、ポスターに名前が掲載されてなく、申し出たところ、急遽、スタッフの書道家の曾山尚幸さんが揮毫してくださり、大変目立つ雪主となりました。

来場者数60,000名以上という大イベントで、当会の若年層を取り込みたいという活動に大いに参考になるものでした。(小沢)



チャリティーグッズの販売スタート



11月11日(日)、淵野辺公園で行われたさがみはら市民活動フェスタに参加して、オリジナルエコバックや手作り品、子供くじ等を販売しました。お買い上げいただいた方



へ「サンクスカード」をお渡しして、骨髓バンクとボランティア活動への理解をお願いしました。同時に「骨髓バンククイズ」を行い150人ほどが参加され、楽しみながらドナーについて知って頂く機会となりました。売上は15,900円で、募金箱へ1,920円の寄付がありました。

他にも、8月11日、12日に開催された「キャンサーネットジャパン2018」でもグッズの販売で15,300円の売上がありました。感謝いたします。

今回のノウハウを参考にして、今後の活動につなげていこうと思います。(中島)

ドナー登録会の近況

10月は骨髓バンク推進月間でした。当会も皆様の努力で各月の2倍以上248名の実績をあげました。登録内訳は、献血ルーム:3回32名、献血バス:16回216名(献血バス登録:大学が8回116名、役所・街頭等が8回100名)。又、当会が参加しなかった献血ルームと保健所等で73名の登録がありました。

当会では大学でのドナー登録会を増やしています。学生たちは呼びかけに対して真摯に受け止め、説明員の話に耳を傾けてくれます。若年層の登録者を増やしたいのはもちろんですが、「骨髓バンクの事を知ってもらえる。」ということも大切な意義のひとつです。今後も重点的に大学での登録会を行う予定です。

日本骨髓バンクの資料によりますと、近年は順調に登録者を増やしていましたが、今後はドナー登録者の年齢制限(55歳)による登録抹消者数が新規登録者数を超えることが予想されています。マイナスに転じることがないように、登録会などで地道に呼びかけ、登録につなげたいと思います。(岩崎)

◆登録会実施結果

日付	開催場所	登録/説明
8/15(水) 8/16(木)	神奈川県庁舎	21/23
9/2(日)	横須賀中央駅前	8/8
9/11(火)	戸塚区役所	6/8
9/13(木)	相模原市役所前	6/6
9/18(火)	鶴見大学	10/14
9/22(土)	本厚木駅前	12/15
9/25(火)	東京都市大学	4/10
9/25(火)	麻布大学	12/17
9/27(木)	桜木町駅前	23/25
10/3(水)	北里大学（相模原キャンパス）	22/27
10/4(木)	東京農業大学（厚木キャンパス）	9/13
10/4(木) 10/5(金)	防衛大学校	39/46
10/7(日)	横須賀中央駅前	17/20
10/11(木)	湘南工科大学	12/17
10/12(金)	神奈川大学（横浜キャンパス）	16/24
10/13(土)	東戸塚駅東口西武前	13/15
10/14(日)	伊勢原道灌まつり	25/27
10/16(火)	東海大学（湘南キャンパス）	12/16
10/20(土)	イトーヨーカドー大船店	9/14
10/21(日)	逗子市民まつり（第一運動公園）	11/15
10/21(日)	小田原ダイナシティウエスト	6/9
10/27(土)	北綱島小学校	8/11
10/28(日)	立場駅前	11/13
10/29(月)	東海大学医学部付属病院	6/8
11/4(日)	北里大学北里祭	11/15
11/6(火)	東京工芸大学	10/12
11/9(金)	明治大学（生田キャンパス）	14/17
11/13(火)	戸塚区役所前	11/13
11/15(木)	慶応大学（湘南藤沢キャンパス）	4/5
11/15(木) 11/16(金)	明治学院大学（横浜キャンパス）	28/36
11/17(土)	横須賀中央駅前	12/16
11/18(日)	京急久里浜ウィング	8/12
11/19(月)	日本体育大学（健志台キャンパス）	10/13
11/20(火)	県立保健福祉大学	16/22
11/21(水)	麻布大学	9/20

◆献血ルーム登録数集計(H30/8月～11月13回)

(登録数/説明数)

	川崎 (5回)	横浜 クロスポート (4回)	横浜 Leaf (4回)
合計	47/56	38/50	39/44
累計(27/5～)	352/440	396/550	68/80

毎月第2土曜：横浜東口クロスポート献血ルーム

毎月第3土曜：横浜 Leaf 献血ルーム

毎月第4土曜：かわさきルフロン献血ルーム

◆日本骨髄バンクの現況（H30年10月末現在）

骨髄バンクデータ集より	全国	神奈川県
ドナー登録者数	492,332	21,499
患者登録者数	4,049※	71
移植実施数	22,508※	1,206

※海外を含む

◆その他の活動報告◆

【広報活動】

8/4(土) 厚木鮎まつり

8/11(土)・12(日) キャンサーネットフォーラム

8/21(火) エフエムさがみ ラジオ出演

11/11(日) さがみはら市民活動フェスタ

【その他】

9/16(日) 医療講演・シンポジウム

10/20(土) 第10回患者サロン

11/3(土) ドナー登録説明員養成講座

◆今後の活動予定◆

12/16(日) 大磯ウインドアンサンブル(広報)

12/16(日) 横須賀中央駅登録会

12/20(木) 茅ヶ崎市役所登録会

平成31年

2/11(月・祝) 神奈川ボランティアフェスティバル

◆ご寄付＆募金のご報告◆

みなさまありがとうございました

【ご寄付】

コットンキャップの会 様 20,000 円

増田 明雄 様 50,000 円

東海大学病院 矢部 普正 先生 30,000 円

虎ノ門病院 内田 直之 先生 10,000 円

篠原 淳二 様 6,180 円

服部 忠男 様 10,000 円

【募金】

医療講演会シンポジウム募金箱 16,524 円

さがみはら市民活動フェスタ募金箱 1,920 円

+++

私たちの活動は善意のご寄付で支えられています。
ご協力をお願いいたします。

++寄付の振込先++

郵便振替口座： 00230-8-55751
加入者： 神奈川骨髄移植を考える会

==編集後記==

9月16日のシンポジウムの後日、シンポジウムに参加した数名の方がドナー登録に来てくださいました。
登壇者・来場者・スタッフ、皆さまへ感謝いたします。
(中島)